

各 位

上場会社名 日本トムソン株式会社
 代表者 取締役社長 宮地茂樹
 (コード番号 6480 東証第一部)
 問合せ先責任者 経理部長 牛越今朝明
 (TEL. 03-3448-5824)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想の修正、
 営業外費用(為替差損)の計上および繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

平成 28 年 8 月 10 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に
 差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月期通期
 の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで)における営
 業外費用(為替差損)の計上および繰延税金資産の取り崩しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	21,500	1,000	400	200	2.76
実 績 値 (B)	21,260	694	△20	△1,070	△14.80
増 減 額 (B-A)	△239	△305	△420	△1,270	—
増 減 率 (%)	△1.1	△30.6	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	22,745	1,979	2,009	1,218	16.76

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	44,000	2,200	1,600	900	12.43
今 回 修 正 予 想 (B)	42,500	1,500	700	△500	△6.94
増 減 額 (B-A)	△1,500	△700	△900	△1,400	—
増 減 率 (%)	△3.4	△31.8	△56.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	43,664	3,018	2,756	1,569	21.64

3. 差異および修正の理由

平成29年 3 月期第 2 四半期累計期間につきましては、第 2 四半期以降の緩やかな需要回復を見込んでいましたが、
 その回復力が弱いほか、一部たな卸資産を廃棄したことなどにより前回公表(平成28年 8 月10日)の業績予想を下回
 りました。

また、平成29年 3 月期通期につきましては、中国経済の成長鈍化等、世界経済の回復力が弱いほか、平成28年10
 月17日公表の「優必勝(上海)精密軸承製造有限公司の持分の取得(子会社化)に関するお知らせ」のとおり持分取得
 関連費用の計上見込もあり、前回公表の業績予想を修正いたします。

4. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において、為替相場の変動により為替差損 730 百万円を営業外費用に計上しました。これは、主に当社グループが保有する外貨建債権債務の決済および期末（平成 28 年 9 月末日）時点の為替相場による評価替えにより発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

5. 繰延税金資産の取り崩しについて

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において、今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産につきましては 596 百万円を取り崩し、法人税等に計上しております。

(注)上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上